

第2回ワークショップ等の意見を踏まえた機能の配置イメージ（案）

別紙資料-5:第2回ワークショップ等の意見を踏まえた機能の配置イメージ(案)

■屋上の活用 ※屋上ひろば、太陽光発電、屋上緑化など

【主な市民意見】

- ・植物を育てる講座等を開催できる植栽スペース(花壇等)を設けた屋上空間として欲しい。
- ・ソーラーパネルを弓道場の屋根の上に設け、緑化のスペースを広くして欲しい。
- ・デトスポットやベンチがあると良い。

【意見を踏まえた方向性】

- ・弓道場からフリースペース、屋上活用までを一体的に利用も可能になるような空間を創出。

【検討事項】

- ・設備置場や太陽光パネル、屋上緑化（条例上必要な面積）等、一定の面積を要するため、市民に開放できる大きさにより使い方が限定的になる。

■2階：イベントなどに活用しやすいフリースペース

【主な市民意見】

- ・イベントで多くの人を集まれるまとまった広さのフリースペースが良い。
- ・誰でも立ち寄れるようなフリースペースが良い。
- ・フリースペースの自由度が高いと良い。
- ・多目的室は目的に合わせて可変性のある空間が良い。
- ・いろんな人同士でコミュニケーションが取れるフリースペースであると良い。
- ・自習できるスペースが欲しい。
- ・フリースペースでグループ同士の話し合いができる空間がほしい。
- ・多目的室は災害時にも有効な利用ができるよう、可動間仕切を採用して欲しい。

【意見を踏まえた方向性】

- ・グループ同士の個々の打合せも想定し、パーティションで区切るなどの運用の工夫が必要。
- ・災害時の使用にも考慮し、個室や大部屋(災害対策本部等)へと目的に合わせた有効活用を可能とする。

【検討事項】

- ・大きな空間だけでなく自習スペースなど小規模なスペースも確保できるよう検討が必要。(吹き抜けの廻りなどに設けるなど)

■1階（屋外）：民間と繋がるオープンスペースの活用

【主な市民意見】

- ・オープンスペース側から2階に上がる階段があると、公民館のイベントで利用しやすい。
- ・オープンスペースをファーマーズマーケットの開催に利用。オープンスペース側の壁を展示スペースとして活用。
- ・オープンスペースの境には緑地を設けて、緑の多い建物として欲しい。

【意見を踏まえた方向性】

- ・オープンスペースと多目的室の機能連携を図るため、上下階につながる階段を利用しやすい見やすい位置に配置。

【検討事項】

- ・イベント利用(キッチンカー乗り入れなど)に配慮した仕様、設え、植栽計画とする。

■その他の主な意見

【主な市民意見】

- ・自然光を入れ明るい空間にして欲しい。
- ・子供たちだけで遊べるように安全面に配慮してほしい。
- ・誰もが訪れることができるようユニバーサルデザインに配慮してほしい。
- ・カフェがあると良い。
- ・エレベーターは2台設置が望ましい。
- ・ペロブスカイト太陽電池の採用などが望ましい。
- ・交流のきっかけになるような、ベンチなどの家具があると良い。
- ・イスやテーブルに色んな種類があると良い。
- ・歴史を感じさせるもの（壁、置物など）があると良い。

【意見を踏まえた方向性】

- ・自然光も取り入れられ明るく入りやすい計画とする。
- ・ユニバーサルデザインに配慮した施設計画とする。
- ・EVや最新設備などの施設設備については、適切な計画となるよう検討を進める。
- ・内外装のイメージを踏まえ、必要な什器・備品を検討する。



■3階（屋上）：弓道場の矢道の活用

【主な市民意見】

- ・弓道場を利用していない時の利用を子供たちの遊び場などとして欲しい。人工芝であるとよい。
- ・弓道場は見学可能とし、安全の確保をして欲しい。
- ・弓道場は公式の試合ができるような正規なものとして欲しい。

【意見を踏まえた方向性】

- ・フリースペース、屋上活用と一体的利用の想定。

【検討事項】

- ・弓道場利用と矢道開放利用の運用調整。開放する場合は設えや安全面の検討。

■1階：まとまったフリースペースによるの立ち寄り易さへの配慮

【主な市民意見】

- ・1階は建物の顔であるため、道路に面した広いフリースペースは、閉鎖的にならず、人と人が集える交流の場であると良い。(交流できるようなサロンなど)
- ・用事がなくても立ち寄りやすいと良い。
- ・吹き抜けがあると上下階に対する空間の広がりを感じやすい。また、上下階にいる(活動している)利用者に、ゆるやかな視線の交わりが生まれる。
- ・屋外から自然と施設へ入っていくよう入口(開閉式)であると良い。
- ・図書館の[静]と[動]のスペースの分けをハッキリして欲しい。
- ・図書館とフリースペースが融合するような形が良い。(ブラウジング)

【意見を踏まえた方向性】

- ・立ち寄り易いように道路に面してフリースペース等を設け、また、上階を意識して行きやすくするため、フリースペースには上階につながる階段や吹き抜けを設けるなど工夫する。
- ・屋外から屋内へ入りやすく、また、一体利用もできる開閉可能な形態を検討する。
- ・図書館については「静」と「動」のスペースの分けとしてフリースペースを活用する。
- ・図書館機能とフリースペースを連動させたブラウジング空間の設置を検討する。

【検討事項】

- ・家具・備品の配置や通路の計画により、動利用と静利用の機能を共存させる。
- ・開放性の高い建具とする場合、開放時に砂ぼこり等が室内に入らないように配慮する。また、空調効率にも配慮が必要。

【授乳室】

- ・機能の特性に配慮した配置に設ける。

【保育室】

- ・利用しやすい配置(1階)に設ける。

【印刷室】

- ・フリースペースや共用部で設置を想定。

【駐車場】（附置義務台数は14台）

- ・駐車場を東側に設けることで、利用者と歩車分離により安全に配慮する。計画台数は身障者用2台、荷さばき用1台とする。残りの11台以上は民間側で設置するものとする。

■地下階：地下階の活用 ※武道場、多目的室（防音・防振）など

【主な市民意見】

- ・剣道場は公式の試合ができるような正規なものとして欲しい。

【検討事項】

- ・スポーツ機能に必要な諸室（更衣室など）を弓道場と兼用
- ・武道場は多目的な活用を検討。

【バリアフリートイレ】

- ・誰もが利用しやすい広さ動線、個数を検討する。
- ※各階多目的トイレ設置、男性トイレにおむつ替えスペースを設けるなどを検討。

凡例

- ◀▶ : 利用者出入口想定を示す。
- ↔ : 機能の関係性を示す。
- ⬇⬆⬇⬆ : 想定される人の流れを示す。
- ⬇⬆⬇⬆ : 縦の関係性を示す。
- ⬇⬆⬇⬆ : オープンスペースからの人の流れを示す。